

保安高度化で 「事故少県」へ

埼玉県LP協



川本会長

埼玉県LPガス協会

(川本宣彦会長)は5月26日、通常総会を開催した。

承認された2008年度の主な事業計画は、①LPガス流通3団体の統合に対応し、関係団体もあり方、方向性を検討する。さらに公益法人改革三法が12月から施行となるが、上部団体と足並みをそろえ新制度への移行を進める。②昨年は全国で238件と事故が多発

しており、埼玉は27件と全国でも最多件数だが、「保安高度化運動」を一層推進し、事故少県を目指す。③次代に向けて後継者育成、人材強化を支援する―など。

川本会長は「昨年6月の日連会長就任時の3つの誓いのうちの1つである流通3団体統合を呼びかけ、各団体の総会承認を経ていよいよ実現する運びだ。秋頃までには事務局は合体して同じベクトルで物事が進められる形となろう。昨年来630事業者が廃業し、往年5万4000件あった事業者数が2万4000件を切った。後継者難、原料高、電化攻勢など厳しい現実はあるが、自覚を新たにするとともに、同業者を惹きつけ業界でありたい」と挨拶を行った。